

産業建設常任委員長

去る8月25日、県営水道の送水トンネル崩落事故により、26日から市全世帯の8割に当たる11、950世帯が断水となり、市民の皆さまには大変不便をおかけしました。事故の原因は、完成から40年が経過し老朽化が進んでいた。内部点検は一度だけで27年間は点検していない。

予定であったが、点検には数日間の断水が必要であり、工業用水(呉市)を使う企業も、上水道の送水を受ける自治体も断水に難色を示し、点検を見送ったのが原因の一因と思える。今後の課題は、新しくパイプスの建設が必要ではないか。事故当初は、3週間位と見込んでいたが、12日

間で全面給水となり、市民の皆さまも安心されたことと思います。また、断水を通じて、互いに助け合う心、水の大切さを痛感されたことと思います。事故に際し、呉市・坂町からの「友情の水」、また、陸・海自衛隊、県内の自治体、市内各自治会、ボランティアの給水支援と、全国からの救援物資をいただき心から感謝申し上げます。



▲ 市民によるボランティア活動



▲ 中学生によるボランティア活動

ご支援ありがとうございます



井戸水の検査
生活用水確保のため無償で既存の井戸水の水质検査を行う。検査実施数は全市で2,051件。検査の結果水质基準に適合したものが685件(33・4%)は飲料水として活用。適合しないもの1,366件(66・6%)はトイレ・風呂水として利用され大いに役立ちました。

終わりに

突然の県営水道送水施設の災害、そして素早い市長の決断と対応、それに呼応していただいた、県・海上自衛隊また陸上自衛隊・県内外の各自治体・企業の皆さま有難うございました。なにより各自治会の方々の積極的なボランティア活動を目にし、たのしく感じました。

今回のことを教訓として自主防災の大切さを感じており、いつ起こるか分からない災害に備えて「私たちのまちは私たちが守る」という意識で、いざというときの心構えとともに、近所の人たちと協力しあい災害に強いまちづくりを進める必要があると思いました。皆さまのご協力により当初予想された3週間より早く通水できたことを感謝しております。議員一同



研修だより
企業会計特別委員会

本市の交通船事業は、長期にわたる景気の低迷、人口減による利用者の減少、加えて燃料の高騰等により、経営が圧迫されているため、なんらかの好転の糸口をつかむべき、7月19日〜20日の2日間の日程で本市事業と規模、おかれた背景等が類似した2事業所を訪問し、視察研修を実施しました。

初日は、竹原市の竹原波方間自動車航送船組合(中四国フェリー)。県内には2事業体しかない同じ公営船という観点から同組合を訪問し、副管理者他スタッフの方々から西瀬戸自動車道(しまなみ海道)との競合等、現在おかれている状況、今後の課題について説明を受け、大いに意見交換をさせていただきました。

翌日は、松山市の中島汽船株式会社。平成17年、中島町の松山市への編入合併を機に現在の株式会社(民営)に移行はした

もの、その前年までは町営船として永年運営をしてきたという共通点があることから訪問。ここでは中島支店長から旧町営船時代のおかれていた状況、また民営化移行時のプロセス、苦労話等に聞き入りました。両事業所ともおかれた背景は互いに異なるものの、大変厳しい状況下に



▲ 竹原波方間自動車航送船組合視察(竹原市)

9月		8月			7月				月			
25日	15日	4日	30日	25日	22日	7日	19日〜20日	18日・21日	13日	12日	4日・11日	日
第4回市議会定例会	議会広報特別委員会	議会運営委員会	文教厚生常任委員会	議会全員協議会	企業会計特別委員会	文教厚生常任委員会	議会運営委員会	議会全員協議会	産業建設常任委員会	議会全員協議会	企業会計特別委員会	議会名
一般質問、答申1件、議案11件、企業会計決算の委員会付託4件、発議2件	議会だより第8号掲載内容検討	第4回市議会定例会(議案・議事日程・会期等)	災害対策	災害対策、議員の定数・政務調査費	災害対策	視察研修の成果と今後の対策	視察研修	議員の定数、政務調査費	梅雨災害の状況と今後の方針、小用港の埋立の進捗状況	視察研修	議会だより第7号編集	主な審議内容

◆ 議会の動き (平成18年7月〜9月) ◆